

牛群検定ビッグデータ（その13） ～分娩後初回授精日数の度数分布～

図表は令和元年度に牛群検定成績でとりまとめた、乳牛初産及び2産以上の分娩後初回授精日数の度数分布を見たものです。

分娩後初回授精は全国平均で初産89日、2産以上94日というように、平均値データが代表値としてよく使われますが、この平均値は例えば極端に授精報告の遅い数値等が含まれる場合には偏った度数分布を示すため、代わりに全体の50%を意味する中央値を使う場合があります。

中央値で見えますと、初産79日、2産以上83日となっており平均値よりも約10日前後短いことが分かります。牛群検定で目安としているVWP（意図的に授精を行わない期間）は、初産が分娩後80日、2産以上を分娩後60日としていますので、初産については約半分の頭数が達成しており、2産以上では、半数以上が未達であるという事が見て取れます。

このように集計値によっては正規分布しないデータもありますので、データ活用の際には、どの値を使って傾向を見ていくかが大事なポイントといえるでしょう。

ビッグデータから得られる情報を、飼養管理のご参考としていただければ幸いです。

